

次期南極研究観測計画「氷期-間氷期サイクルから見た現在と将来の地球環境」

New JARE scientific project 'Study of glacial-interglacial cycle and the present and future global environmental change'

本山 秀明 [1]; 藤田 秀二 [2]; 三浦 英樹 [1]; 川村 賢二 [1]; 東 久美子 [1]

Hideaki Motoyama[1]; Shuji Fujita[2]; Hideki Miura[1]; Kenji Kawamura[1]; Kumiko Goto-Azuma[1]

[1] 極地研; [2] 国立極地研究所

[1] NIPR; [2] National Institute of Polar Research

南極大陸と南極海は地球の気候システムのなかで「南極冷却圏」を構成する。本研究の目的は、南極冷却圏の主要な舞台である東南極氷床とその近傍の南極海において、氷期 - 間氷期サイクルのなかでの環境変動史やその変動メカニズムについての知見を高度化し、その知識に基づいて将来の地球環境変動に対する的確な見通しや必要な対応策を持てるようにすることである。

そのために南極地域観測第 VIII 期重点研究観測「南極域から探る地球温暖化」のなかにあるサブテーマの1つとして「氷期-間氷期サイクルから見た現在と将来の地球環境」を平成 22 年度から開始する。